



2018年11月16日

各 位

会 社 名 日本アジア投資株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 下村 哲朗
(コード番号 8518 東証一部)
問い合わせ先 執行役員 岸本 謙司
T E L 03(3259)8518

メガソーラーシェアリング発電所完成のお知らせ 2か所合計 5.3MW 全てが完成 ～麦の栽培と太陽光発電を両立、地域創生にも貢献～

日本アジア投資株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：下村 哲朗、以下日本アジア投資、以下：当社）は、当社が、リニューアブル・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：眞邊 勝仁）及び、東急不動産株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：大隈 郁仁）と、岩手県一関市において、株式会社東北銀行（本社：岩手県盛岡市、代表取締役頭取：村上 尚登）からプロジェクトファイナンスの手法による融資を受けて開発中であった営農型発電所（ソーラーシェアリング）の「一関市鈴ヶ沢太陽光発電所」（以下「本発電所」）が2018年10月に完成し、11月8日に竣工式が開催されましたのでお知らせいたします。本発電所は、2018年6月に先行して完成した「一関市吉高太陽光発電所」とともに開発されたものです。2つの発電所の太陽電池出力は、合計で5.3MWとなります。



竣工式の様子



発電所の様子

1. 本発電所の特長

①麦の栽培と太陽光発電を両立

耕作に必要な太陽光を確保するため、一定の間隔を空けて太陽光発電パネルを並べることで、太陽光を農業と発電でシェアします。なお、本発電所ではパネル下で大型農機を使用し、大麦を栽培する予定です。

②地域主体のサステナブルな地域創生

本発電所は再生可能エネルギーを積極的に導入する一関市が、立地協定を結ぶリニューアブル・ジャパンと計画し、藤沢農業振興公社（以下公社）、営農者及び地権者、関係各社との協議を経て実現しました。

発電事業者である合同会社吉高鈴ヶ沢と公社との間で締結された営農支援業務委託契約に基づき、発電事業収入の一部を20年間に亘り営農支援費用として公社へ支払い、地域創生に貢献します。

2. 発電所の概要

| | |
|--------------|--|
| 名称 | 一関市鈴ヶ沢太陽光発電所 |
| 場所／敷地面積 | 岩手県一関市藤沢町／58,095 m ² |
| 太陽電池出力／パネル枚数 | 2,629.88kW／9,460 枚 |
| 年間想定発電量 | 3,030,975kWh ・ 一般家庭 約 683 世帯分の年間使用量に相当します * |

* 太陽光発電協会「表示ガイドライン（平成 29 年度）」：世帯あたりの年間電力使用量を 4,432kWh より

以上